

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	地方空港のネットワーク化推進 (ローカルエアーで結ぶ地方観光のネットワーク化 事業)				部(局)	産業労働部観光局
					所管課	観光振興課
					担当班	誘客促進班
					連絡先	078-362-3696
開始年度	令和3年度	終了年度	-	関連計画等	-	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )				実施主体等 (公社)ひょうご観光本部等	
事業目的	ポストコロナを見据えた安心安全な国内旅行の需要に対応し、空港航路を活用した“ローカルtoローカル”(地方から地方へ)の取組みを推進するため、航空会社や就航地DMOとの連携により、“相互送客”に向けたネットワークを構築し、国内観光市場の活性化を目指す。					
事業概要	(1) 就航地DMO等観光関係団体と連携した相互誘客の促進 ①双方のHP・SNSでの相互連携のPR ②観光アンバサダーを活用した情報発信・SNS等のプロモーション (2) 航空会社と連携した情報発信 (3) 就航地連携観光サミットの開催					
これまでの改善状況	-					
業務フロー	補助金交付申請(実施主体)→受付・審査(県)→補助金交付決定(県)→事業実施・補助金実績報告(実施主体)→受付・審査(県)→補助金交付(県)					

区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	0千円	5,400千円	5,400千円	5,400千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	0千円	5,400千円	5,400千円	5,400千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(5,400千円)	(5,400千円)	(5,400千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	5,400千円	5,400千円	5,400千円
	執行率((①/②)×100)		--	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	0.0人	0.2人	0.2人	0.2人
			0千円	1,644千円	1,724千円	1,723千円
		職員給与費 a	0千円	1,420千円	1,502千円	1,499千円
賞与引当金繰入額 b		0千円	114千円	116千円	114千円	
退職手当引当金繰入額 c		0千円	110千円	106千円	110千円	
総コスト(①+③)		0千円	7,044千円	7,124千円	7,123千円	

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	最終目標
			実績	実績	見込	目標	
価値	成果指標(アウトカム指標①) 神戸空港旅客者数(単位:千人) ※羽田空港を除く	目標	-	-	-	2,200	2,200
		実績(見込)	-	1,131	(2,200)	(2,200)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
	成果指標(アウトカム指標②) 国内就航地との連携数	目標	-	4	5	6	8
		実績(見込)	-	4	(5)	(6)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	-	(1,761千円)	(1,425千円)	(1,187千円)	
		達成率(見込)	-	100.0%	(100.0%)	(100.0%)	
	成果指標(アウトカム指標③) サミット参加者数(単位:人)	目標	-	200	100	100	100
		実績(見込)	-	325	(128)	(100)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
指標	活動指標(アウトプット指標①) アンバサダー登録数(単位:人)	目標	-	2,500	7,000	10,000	10,000
		実績(見込)	-	4,317	(10,635)	(11,000)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	-	(2千円)	(1千円)	(1千円)	
		達成率(見込)	-	172.7%	(151.9%)	(110.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目標	-	-	-	-	
		実績(見込)	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
	活動指標(アウトプット指標③)	目標	-	-	-	-	
		実績(見込)	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	
		達成率(見込)	-	-	-	-	
終期設定	有 ( ) . (無)						
改善基準	—						

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況(総合的評価)
	<p>○有効性(評価指標に対する実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民ニーズを的確に踏まえた事業か</li> <li>・民間での事業実施は見込めない事業か</li> <li>・指標・目標設定は適切か</li> <li>・活動実績は十分か</li> <li>・想定された成果を達成しているか など</li> </ul> <p>○効率性(最小のコストで最大の効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改革に取り組んでいるか</li> <li>・コスト削減の工夫を行っているか</li> <li>・ICTや民間活力は活用しているか</li> <li>・受益者負担は適正か</li> <li>・財源確保の工夫は行っているか など</li> </ul>	<p>(1)アンバサダーの獲得 2年間でおよそ10,000人の本事業への関心度が高いアンバサダーを獲得した。</p> <p>(2)サミットへの参加者 就航地連携観光サミットには予定数を超える参加者が集まり、航空関係者からも多数の来訪があった。</p> <p>(1)事業実施にあたり、連携県および航空会社等と連携し、各々の情報媒体を効果的に活用することにより、幅広い情報発信に取り組んでいる。</p> <p>(2)事業実施にあたり、制作物等を新たに制作するのではなく、既存の物を組み合わせることによって、コストの削減及び低コストでの情報発信を実施している。</p>	<p>①アンバサダーによるSNS等での情報発信により、安全・安心な国内旅行への需要に応える情報発信・プロモーションを展開した。</p> <p>②幅広い連携先を獲得することで、神戸新聞等のメディアにより本事業が掲載され、多くの人に本事業が広報され、相互誘客に向けた情報発信につながった。</p> <p>③就航地連携観光サミットについて、多数の航空関係者が登壇したほか、オンライン配信などにより、幅広い情報発信を行った。</p>

評価	課題・今後の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 ( 今後、ローカルtoローカルでの相互送客拡大に向けて、進化する神戸空港の魅力発信により新規連携就航先の獲得及び就航先との取り組み強化を検討 )

外部委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就航地と連携した後に何をすることが重要である。アンバサダーも活用した連携就航先での集客イベントを実施し、その開催数をアウトプットとすべき。</li> <li>・集客イベント等は、「ひょうごフィールドバザリオン」とも連携した展開を図るべき。</li> <li>・トップアンバサダー作ってもらったモデルツアーのコンテストを実施してはどうか。</li> <li>・事業目的からすると、アウトカム指標の神戸空港旅客者数からは、羽田空港の旅客者を除くべき。</li> <li>・就航地連携観光サミットの参加者数をアウトカム指標とすべき。サミットの動画配信に対するアクセス数も伸ばすよう努力されたい。</li> </ul>
---------	---

改善結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行のアウトカム指標の神戸空港旅客者数から、羽田空港の旅客者数を除外するとともに、新たに就航地連携観光サミットの参加者数を設定する。</li> <li>・集客イベント等について、より魅力的なものとなるよう関係機関等と引き続き検討を行う。</li> </ul>	